

LPガスによる避難所等での空調・非常用発電機の設置推進



いつ起こるか予想のつかないさまざまな自然災害。地震などの災害では、もっとも重要と言われる48時間乗り切るために、避難場所となる公共施設に災害に強いLPガス設備を設置するケースが増えています。LPガス設備は災害により一旦ガスがストップしても、個別点検をするだけで速やかに復旧できます。LPガスを供給する「災害対応型バルク」を核に、お湯を作る「給湯ユニット」、炊飯・調理のできる「炊き出しセット」、ガストーブ等を備えておけば、避難してきた人たちに炊き出しや暖房を提供できるばかりか、お風呂やシャワーなど衛生面での維持も可能です。

点検・調査も忘れずに!

ガス設備の安全管理と管理責任について

【供給設備とは】

容器からマイコンメータまでを指し、この部分はLPガス販売店が責任をもって安全管理します。

【消費設備とは】

日頃お使いになるガス器具等のこと、マイコンメータの出口からガス器具までを指します。メータがない場合は、容器から燃焼器具までの設備のことです。この部分の法律上の管理責任はお客様にあります。

小型容器をご使用の際は、容器が倒れないように平らな場所で、直射日光や火気を避け、風通しの良い場所に保管してください。また、横に寝かせて使用しないでください。不要になった容器は必ずLPガス販売店に返却してください。

法律に基づいた点検・調査にご協力を

1 容器の交換時

LPガス容器・調整器・容器バルブ・ガス供給管などの外観点検。

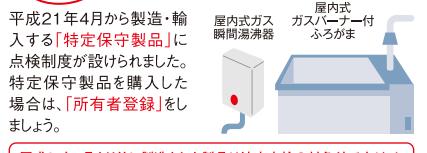
2 4年以内に1回以上

容器からマイコンメータまでの供給設備の点検、配管のガス漏れ調査、ガス機器や給排気設備などガス設備全般についての調査。

※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や機器の交換などを行ってください。

福岡県からのお願い

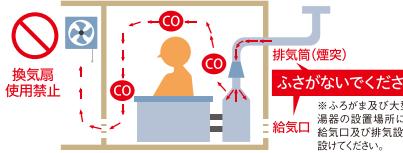
ご存知ですか? 長期使用製品安全点検制度



間違った使い方をしないように!

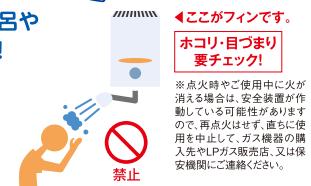
自然排気式のふろがまをご使用の方に

自然排気式のふろがまを使用する時は、台所などの換気扇を使用しないでください。排気ガスが逆流し、一酸化炭素(CO)中毒を起こすことがあります。また、排気筒の破損や鳥の巣などによる閉塞は排気不良の原因となります。こまめに点検しましょう。



小型湯沸器をお風呂や洗髪に使わないで!

小型湯沸器をお風呂や洗髪で長時間使うと、不完全燃焼の原因となり大変危険です。絶対におやめください。



LPガス 安全ガイド

LPガスと安全で快適な暮らしのために



災害時に備え、記入しておきましょう。

防災メモ

災害伝言ダイヤル 171 消防署 ()
火事・救急 119 警察署 ()
事故・事件 110 病院 ()

緊急関係連絡先

電気 ()
水道 ()
LPガス販売店 ()

LPガスチェック

- LPガスの特徴
- マイコンメータの復帰方法
- 外の容器が倒れないようになっているか
- ガス栓(元栓)・容器バルブの閉め方

非常用品リスト

- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 緊急医療品

避難先は?

避難場所

家族の集合場所

LPガス 安全ガイド4つのポイント!



1 安全の確認にも~っと注意を!

①必ず換気をしましょう!

ガスの燃焼時、たくさんの空気がないと不完全燃焼を起こし、有害なCO(一酸化炭素)発生の原因となります。換気扇を回す、窓を開けるなど十分な換気を。大型給湯器などは屋外設置をおすすめします。



②燃焼器はLPガス用のものを!

都市ガス用機器は使用できません。

③ガス栓の開閉は確実に!

ガス使用時はガス栓を全開に、使用後は完全に閉めましょう。外出時や就寝前は閉まっているかご確認を。使用しないガス栓には、必ずゴムキャップ及びガス栓カバーを装着してください。長期不在の場合は販売店に連絡をお願いします。

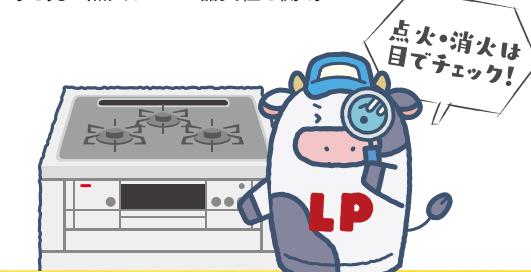
④青い炎で使いましょう!

必ず「青い炎」で。赤っぽい炎は、不完全燃焼の状態。



⑤点火・消火は目で確かめて!

ガス機器の近くに、燃えやすいものは置かない。ガス使用中は、その場を離れない。マッチ等で点火する場合は、マッチ等を先に点火してから器具栓を開く。



2 ガス漏れしても~落ち着こう!

①火気の使用は絶対ダメ!

大変危険! コンロを使用している場合はすぐに火を止めます。

※ライター、マッチ、タバコの火も同様、引火する恐れ有り!



②火花が出るものには触らない!

換気扇、扇風機などのスイッチからは火花が出ることがあります。スイッチを「OFF」にするだけでも火花が出ることも! 絶対に触れないでください。



③ガスを外に追い出そう!

戸や窓を大きく開けて、換気しましょう。

※LPガスは空気より重いため、低いところにたまります。ご注意ください。



④すべての火を消しガス栓を閉めよう!

屋内ガス栓・器具栓、容器バルブも忘れずに閉めましょう!

⑤LPガス販売店または保安機関に連絡を!

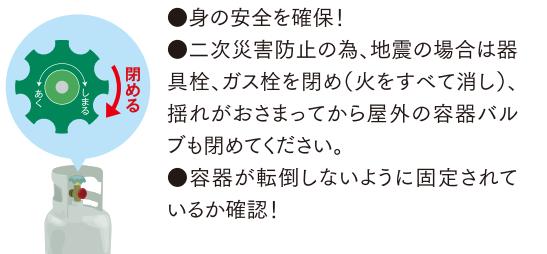
連絡の際は、氏名・住所・状況などをお知らせください。点検を受けるまでガスを使用しないでください。

※販売店への連絡先は表紙に記載しています。
※万が一LPガスによる火災が発生した場合も連絡してください。



⑥自然災害が起きた時は「台風・洪水・地震・火事」

- 身の安全を確保!
- 二次災害防止の為、地震の場合は器具栓、ガス栓を閉め(火をすべて消し)、搖れがおさまってから屋外の容器バルブも閉めてください。
- 容器が転倒しないように固定されているか確認!



3 ガスの性質をも~っと理解しよう!

①空気より重い

LPガスは空気より重いため、漏れると低いところや物かけにたまります。



②ガスは液化している

LPガスは圧力をかけ、液化した状態で容器に入っています。

③エコでクリーン

LPガスはCO₂の排出量が少ないクリーンなエネルギーです。

④空気がたくさん必要

燃焼にはたくさんの空気が必要です。十分に換気してください。

⑤ニオイがある

LPガスは無色無臭ですが、万が一ガス漏れしたら分かるようにニオイをつけています。

⑥ブラシで目詰まりを解消!

不完全燃焼の原因となるコンロなどの目詰まりは、こまめに器具ブラシで掃除を。ただし、ガス器具のお手入れでネジなどを取り外す必要がある場合は、必ずLPガス販売店にご連絡ください。

⑦ゴム管は定期的に点検・交換を!

ひび割れなどがあるゴム管は使用せず、ガス栓に適合するLPガス用ゴム管または専用ホースに取り替えてください。ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。

- ゴム管からのガス漏れは、石けん水を塗り、泡が出るかで分かります。
- ゴム管は長くしたり、物かけを通してたり、折り曲げたりしないでください。



4 安全しっかりも~安心!

安全の見張り番「マイコンメータ」には、自動でガスを止める機能がついています

ガス漏れや圧力などの異常があると、遮断弁が働き、ガスを遮断します。

- お風呂やコンロを消し忘れた時
- ガス使用中に震度5相当以上の地震が起きた時
- 配管の折損やゴム管が外れた時



次の手順で復帰操作を行ってください

- 器具栓をすべて閉めてください。
●使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。
- 左側の復帰ボタンを押してください。
●「ガス止」の文字が消えます。
- 液晶の文字とランプが点滅します。
●1分間ほどお待ちください。
※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。
- 液晶の文字とランプが消えます。
●復帰完了です。
●ガスは使えます。

※復帰操作をしても復帰しない場合(再び「ガス止」表示が出る)は、復帰操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

ガス警報器

ガス漏れをすばやく感知し、ブザーや音声で知らせます。



安全装置付きガスコンロ

全口センサー搭載
SIセンサー

安心便利な機能(調理油過熱防止装置・立ち消え安全装置)が付いています。

- 立ち消え安全装置
- 調理油過熱防止装置



LPガスの安心・安全な使い方をもうっと確認しよう!